

新希望

東日本大震災
毎週金曜日に掲載

■〒100-8051(住所不要)
希望新聞取材班
■ファクス 03-3212-0795
■メール kibou@mainic
hi.co.jp
■ツイッター(@mainic
hi_kibou)でも、被災地
の状況や被災者支援に関
する情報を随時発信して
います。毎日新聞のニュー
スサイトでは、東日本
大震災関連記事([http://
mainichi.jp/feature/2
0110311/](http://mainichi.jp/feature/20110311/))をごらんいた
だけます。
■被災地に役立つ情報
をお待ちしています。投稿
は、氏名、住所、年齢、職業、
電話番号(あればメール
アドレスも)を明記して
ください。

学校寄贈のお礼伝えたい



いわき市の中学生たちの募金で建てられた新しい校舎で勉強するタイの中学生たち＝タイ・ファイコン村で、アジア教育友好協会提供

福島県いわき市の中学生たちが呼びかけた募金でタイの山間部に建設した中学校が開校し、「そのお礼に」と現地の生徒代表2人が12月、いわき市を訪れる。タイの生徒らは「学校を建ててくれたいわきの中学生たちがどんな顔をしているのか、この目で確かめたい」と初の対面を楽しみにしている。

いわきの中学生の募金活動で開校

タイの生徒ら 来月来日

募金を呼び掛けたのは、同市の公立中学44校の生徒会長が集う「いわき生徒会長サミット」。東日本大震災後はタイや

ラオス、ベトナムの子どもたちからも義援金や励ましの手紙が送られた。募金のきっかけはこの時の恩返しに」という思

いだ。生徒たちは、アジア教育友好協会(谷川洋理事長、本部東京)がアジアの経済的に恵まれない地域の子どもたちのために学校を建てる運動「ワンコイン・スクールプロジェクト」に賛同。タイ・チェンマイ県ファイコン村に学校を建設する企画を知り、2012年、1人500円の募金の呼びかけを始めた。3年生が卒業すると後輩たちが受け継ぎ、活動3年目の今年度で、費用の500万円をクリアする見込みだ。この募金で今年8月、レングアブロック一部鉄骨造りの3教室が完成した。

来日するのは中学3年のジャヌ・ノーディーさん(18)とロヌンド・マリガホムアンさん(16)と引率教師ら計4人。ノーディーさんらは「チェンマイから出たことがなく、日本を訪問できるのはうれしい。日本のことや学校でどのような授業や活動をしているのか学びたい」と話す。

来日は12月14日。東京都内の小学校で給食を体験し、17日に福島県入りする予定。東京電力福島第1原発事故で避難し、福島市内の仮設校舎に通う飯館村の中学生の話を聞く。

その後いわき市入りし、20日には同サミットのメンバーらと交流する。議長の山口聖二さん(15)＝平成3年中3年＝は「震災の時に支援してくれたお礼を言いたい。タイの生徒とたくさん話ができるのをメンバー全員楽しみにしています」と話している。【山口昭】